

決算特別委員会での主な 質疑・答弁

第3回定例会初日の9月7日、町長から提案された平成21年度城里町決算（9会計）について詳細に審査するため決算特別委員会が設置されました。
 決算審査は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



委員会の審議状況

総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の9月8日に委員会を開催し、平成21年度一般会計決算の所管分・国民健康保険・老人保健・後期高齢者医療・介護保険特別会計の決算について審査しました。

（一般会計）

歳入

問 収納対策室設置による、滞納徴収の状況について。

答 平成21年度83件実施。

銀行の残高調査を行って徴収できるように努力している。

問 老人福祉センターの利用状況について。

答 年々利用者は減少している。特にやまゆり荘が1月からボイラーの故障のため使えなかった。

歳出

問 人事評価システムの研修内容について。

答 年度当初に個人の目標を設定し、最終的には、個人評価をし、管理職により、職務状況の評価をしている。

より、職務状況の評価をしている。

問 公共施設への地上デジタルテレビ購入事業の内容について。

答 経済危機対策事業で実施し、各課から状況を把握して、最終的な台数を決定。

いる。特にやまゆり荘が1月からボイラーの故障のため使えなかった。

問 定額給付金給付事業の町負担分はあったのか。

答 基本的には、全額補助である。

問 繰越明許事業の進捗状況について。

答 総務費、民生費で27事

業程度あり、現在100%発注には、至っていない。

（国民健康保険特別会計）

問 国県負担金・補助金額の積算根拠について。

答 医療費の動向によって左右される。

問 医療用衛生材料費の医科・歯科の割合について。

答 ほとんどが医科分で、歯科は、化膿止め、痛み止めぐらいである。

問 他会計繰入金について。

答 一般会計からの繰入金によって、赤字にならないように調整している。

（介護保険特別会計）

問 高額医療合算介護サービス費の内容について。

答 平成21年度から実施。7月から翌年8月までの

介護と医療を合わせて、ある一定限度額を超えた分が高額の対象として支給される制度である。

教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、会期中の9月9日に委員会を開催し、平成21年度一般会計決算の所管分・公共下水道事業・農業集落排水事業・簡易水道事業・水道事業会計の決算について審査しました。

(一般会計)

歳入

問 住宅・建築物安全ストック形成事業補助金は、どういったものか。

答 平成20年度から開始。

個人住宅への耐震診断補助である。

問 観光動態調査委託金の調査結果は、単年度のみか。

答 毎年度実施。ふれあいの里、うぐいすの里の2ヶ所。

平成21年度は、ふれあいの里 31, 220人、うぐいすの里12, 045人。

歳出

問 グリーンツーリズム事業の内容は。

答 町から開発公社へ委託し、ふれあいの里、ホールの湯で行っている。

問 消費者相談員育成補助について。

答 平成21年度は、準備段階でパンフレット等を全戸配布。

業の委託先は。

答 笠間西森林組合と城北森林組合に委託し、民有林において間伐等を、七会地区と上古内地区の30haで実施。

(農業集落排水事業)

問 受益者負担金は各地区ごとに差はあるのか。

答 上入野地区 303, 500円 青山地区 24, 000円 北方高久地区 330, 000円 孫根340, 000円である。

(公共下水道事業)

問 特定環境保全公共下水道事業と流域関連公共下水道事業の区分の違いは。

答 特定環境保全公共下水道事業は、独自の処理施設を使用し、都市計画区域外の地域の事業で、流域関連公共下水道事業は、常北地区で、那珂久慈の流域の中に入っているためにこの事業となる。

(水道事業)

問 水道料の未収金の件数は。

答 448件である。

平成22年度は、4月から開始。毎週水曜日相談員1名で町民の方を対象とし、多重債務等の相談を受けている。

問 普及率は。

答 平成21年度末で、常北地区が、27.6%。桂地区が、14.3%である。

問 領収書を毎月発行するよりも半年発行でもいいのでは。

答 使った水道量(使用料も)を教えることにより、漏水の場合などに早期発見できることにつながっている。



委員会の審議状況

問 身近なみどり整備事